

テレワーク時代になり今までになかった新たなハラスメントが横行  
全国 1000 人調査 51%がテレワークでストレスや不安を感じている

#ズムハラ（ZOOMによるハラスメント）を防ぐための無料セミナーを開催

企業向けにパワハラやセクハラ防止研修会を行なっている、株式会社インプレッション・ラーニング（本社：東京都中央区 代表：藤山晴久 以下弊社）では2020年8月7日（金）に社内コンプライアンス担当者・リーダーを対象とし無料で『社内オンライン講師養成研修 体験セミナー【超入門編】』を開催致しますので、お知らせいたします。

■テレワークで起こっている新しいハラスメントの実例

弊社では、2020年6月、全国の管理職・男女、非管理職・男女、1000人を対象とし、「在宅ワークにおけるハラスメント調査」について実態調査を行いました。  
こちらはテレワークで起こっているハラスメントの一例の実例になります。

上司に「もっと部屋を見せてよ」と言われた  
(30代女性)

「君の部屋は汚いね」と言われた  
(20代男性)

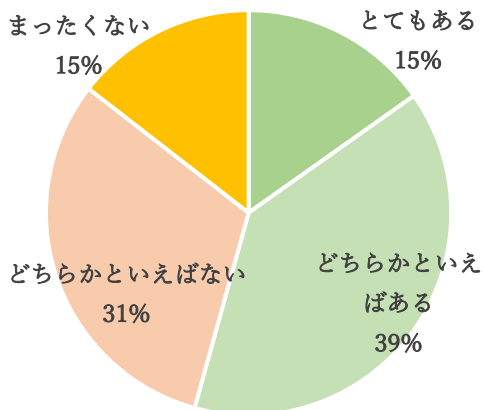
会社にいるときは誘ってこなかったのに電話で誘ってくるようになった  
(30代男性)

息遣いでわかるくらい、言葉のチョイスが気持ち悪い  
(30代男性)

直接は普段言えない下ネタをテレワークだと平気で言う人がいる  
(60代男性)

相手と合っている回数をしつこく聞かれる  
(60代女性)

## ■テレワーク時代のハラスメント問題の実態調査



|   | 回答数    |
|---|--------|
| 1 一言で終わることなのに、いちいち「オンライン会議ツール（Zoom等）を使って話そう」などと言われて時間を取られる。 | 31.90% |
| 2 オンライン会議のカメラをONにしたいのに、カメラをONするように強制されたことがある。               | 12.90% |
| 3 画面背景で、一部とはいえ自分の家の中を見られたり、他人のプライベートが見えたりして、イヤな思いをしたことがある。  | 21.40% |
| 4 仕事でそれほど必要性を感じないのに、1対1のオンライン会議をしようと言われたことがある。              | 9.90%  |
| 5 その他、ストレスや不快に感じたこと   | 4.40%  |
| 6 画面越しのオンライン会議でストレスや不快を感じたことはない / オンライン会議を実施していない           | 44.00% |

図1) テレワークの対応をとった事で、ストレス等を感じたり、困ったことはあるか

図2) 図1で不快と感じた方はオンライン会議で、ストレス等を感じたり、困ったことはあるか

## ■調査結果

この調査の中で、「図1：テレワークの対応をとった事で、ストレス等を感じたり、困ったことはあるか」の問いに対し、過半数を超える人々が不快に感じたことがある、という事がわかりました。2020年4月7日、緊急事態宣言後に企業がテレワークに移行してまだ3ヶ月もたっていない状況の中で、すでにテレワークにおける新しいハラスメントが横行している現状があります。また、図2では、具体的にどんな不快なのか尋ねたところ、こちらも過半数以上が具体的な内容でストレスを感じていることも判明いたしました。

## ■「#Zoomハラを防ぐ！コンプライアンス担当者が押さえておきたいテレワーク時代のハラスメント」

こうした状況をふまえ、弊社では「#Zoomハラを防ぐ！コンプライアンス担当者が押さえておきたいテレワーク時代のハラスメント」と題し、ZOOM等を使う際に起こるハラスメントの実例をご紹介します。機能を使った対処法をご紹介します。実例の中には、「やっと二人きりになれたね」と誘われたというオンライン上の1on1での出来事や、会議中、チャット昨日で上司の悪口を全員送付誤爆した実例などをもとに、どのように対処するのか、またテレワーク時代のコンプライアンスマニュアルの必要性についてご案内いたします。今後もテレワークが推奨されていく中で、いち早く企業としても対策が必要なものになってくると考えております。また、前半部分ではZOOMの操作方法と社内講師が抑えたいポイントについてご案内いたします。ご多忙のことと存じますが、是非ともご参加のご検討をいただけますと幸いです。何卒よろしく願いいたします。

## ■講義内容

主 催 株式会社インプレッション・ラーニング  
日 時 8月7日(金) 10:00 ~ 12:00 オンライン研修 (ZOOM開催)

10:00 開会

### 1. 私でも簡単！初めて学ぶZOOMの操作方法と、社内講師が押さえてほしいポイント（解説、操作）（90分）

- なぜ、コンプライアンス教育にもオンライン化が求められるのか？
- オンライン研修の特徴を理解する
- ZOOMの基本知識を知ろう
- 講師として知っておきたい、オンライン研修の事前準備の重要性
- 受講者に事前にお願ひしたいこと
- ZOOMの基本機能の使い方 触ることから始めよう！
- リアルの研修では起こらないハプニングやトラブルの対処法
- 講師とサポート役の連携が重要

### 2. #ズムハラを防ぐ！コンプライアンス担当者が押さえておきたいテレワーク時代のハラスメント（30分）

ZOOM等を使う際に起こるハラスメント実例をご紹介しますながら、機能を使った対処法をご紹介します。

- 「そのカーテンかわいいね」 青ざめる上司の一言
- 「やっと二人きりになれたね」 誘われたら要注意！オンライン上の1on1
- 会議中、チャット機能で上司の悪口全員送信 誤爆！
- 画面上の盗撮に注意！あなたは大きな顔で見られている
- 「そんな機能も知らないんですか？部長古いですね」
- リスク管理の観点からオンラインの機能を使いこなす
- テレワーク時代のコンプラマニュアルの必要性

※取材の際は、弊社会議室から講義風景を実際にご覧いただけます。

※実際にテレワークにおけるハラスメントにあった方もご紹介可能です。

**取材・インタビューはオンラインでも対応いたします**

### <代表プロフィール>



代表 藤山晴久

アンダーセンビジネススクール、KPMG あずさビジネススクールにて、上場企業を中心にコンプライアンス、ハラスメント研修等を企画。2009年にコンプライアンス、ハラスメント問題の解決に特化した研修会社（株）インプレッション・ラーニングを設立。ハラスメントの「グレーゾーン問題」に特化した研修を日本で一早く企画し実施。起業後10年間で約2,000件、約30万人以上に研修を実施している。代表自身が、会社員時代、「セクハラ」「パワハラ」を経験。逆に、仕事のストレスから後輩をいじめて、後悔する経験、「内部通報制度」で社内の誰かに訴えられる経験もある。さらに、営業担当していたお客様が、上司のパワハラでこの世を去ったこととがあり、日々、ハラスメント撲滅に力を注いでいる。

### 【株式会社インプレッション・ラーニングとは】

日本初のパワハラ・セクハラグレーゾーン問題を専門的に扱う研修会社。ビジネス現場に、ハラスメントの正しい理解を浸透するよう、ハラスメントのグレーゾーンの問題とその対処法が学べる環境を提供しています。

### 【会社概要】

会社名：株式会社インプレッション・ラーニング（東京都中央区京橋1-14-9 依田忠ビル5F）

代表者：藤山晴久

設立：2009年／URL：<https://www.impression-ilc.jp/>

事業内容：ハラスメント研修 講師 派遣（パワハラ、セクハラ、マタハラ）、コンプライアンス研修、新入社員会計研修、新任管理職会計研修、次世代リーダー会計研修、BSアプローチ、BSアプローチ会計学習法、人材開発、人材育成セミナー、企業研修、コンプライアンス研修

### 【調査概要】

調査名：在宅ワークにおけるハラスメント問題実態調査

調査手法：インターネットリサーチ／調査地域：全国47都道府県／有効回答数：1,000サンプル

調査対象：20～69歳の男女、役職については部長以下／調査期間：2020/5/29～2020/6/2

調査主体：株式会社インプレッション・ラーニング

ご質問、ご要望等がございましたら、お気軽にご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社インプレッション・ラーニング 広報事務局 古川

TEL:03-5801-0777 携帯:080-7374-0926 Mail: furukawa@lita-pr.com